

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	伊藤智典
担当業務	<p>理事会諸会議に出席し、定款第 6 章にさだめる職務を行いました。</p> <p>JANNET(障害分野 NGO 連絡会)の幹事として各種会議に参加しました。</p> <p>World Physiotherapy AWP region(世界理学療法連盟アジア西太平洋地区)の執行委員会の委員として、AWP region の会議へ参加、Webinar の企画、運営をしました。</p> <p>協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク部会の担当として課題検討を行い、年度の締めくくりとして報告書にまとめました。</p>

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
1 月 6 日		賛助会員懇談会	ベルサール六本木
1 月 6 日		第 8 回 理事会・第 4 回理事懇談会	協会会館
1 月 31 日		第 3 回 協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク検討部会	オンライン
2 月 9 日		日本理学療法士連盟 研修会	参議院会館 1 階
3 月 2 日		第 9 回 理事会・第 5 回理事懇談会	協会会館
3 月 4 日	○	AWP region 執行委員会 会議	オンライン
3 月 26 日	○	AWP region Webinar	オンライン
所感		<p>1 月 6 日は、賛助会員懇談会に参加しました。これは賛助会員規程で 1 年に一度開催することが定められているもので、本会と企業とが直接、意見交換ができる大変重要な機会です。2023 年度の本会事業の紹介、2024 年度の事業計画案の説明、60 周年記念事業、政策活動報告などを行い、質疑並びに意見交換をしました。本会の事業が賛助会員にとっても魅力あるものになるよう、またリハビリテーション、理学療法を応援する仲間が増えるように努めたいと考えます。</p> <p>同日 6 日の理事会において、本会の定款 第 6 章に定められている事項のうち、以下の(1),(2),(5)の決議を行いました。</p> <p>【定款第 6 章 理事会の職務より】</p> <p>(1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督 (3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職 (5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職</p> <p>上記(1)に関して、第 59 回日本理学療法学会研修大会 in 東京の最終予算案、第 61 回日本理学療法学会研修大会の開催担当、第 53 回定時総会の日程等、特定資産取扱規程の改正案、2024 年度事業計画並びに予算案、役員報酬等委員会からの求めに対する理事会の回答、新入会員の承認について審議し、決議しました。</p> <p>上記(5)に関して、専務理事の解任ならびに選定について決議しました。また各種報告事項を確認し、上記(2)に関して執行を監督しました。</p> <p>理事会後に行われた理事懇談会において、一般理事への会議謝金支払い、役員選挙制度、指定規則等改正に向けた本会の基本方針(案)、4 年制大学化推進部会の活動内容、第 60 回日本理学療法学会研修大会の企画・予算案について意見交換をしました。理事会では意見交換すべき議題が多く会議が長引き、本来は十分に意見交換すべき理事懇談会の時間が短くなるのが、引き続き発生しています。議題の整理や議論の進め方などに工夫が必要だと感じます。</p>	

	<p>1月31日には第3回 協会役員・士会長 OB・OG ネットワーク検討部会を開催しました。第1回、第2回の会議をふまえて、提言書（報告書）を確認し、最終化しました。おかげさまで理事会にも報告出来ましたこと、ご協力いただいた部会員各位にお礼を申し上げます。</p> <p>2月9日は、日本理学療法士連盟の研修会に参加しました。形式は2部構成で、講演「国会議員の声を学び、政策実現への力へ」、対談「理学療法士のルーツを知り、今を考える」というものでした。全国レベルと都道府県レベルで、より多くのステークホルダーとつながることは政策実現に向けて重要だとの学びを得ました。</p> <p>3月2日の理事会において、本会の定款 第6章に定められている事項のうち、以下の(1),(2)の決議を行いました。</p> <p>【定款第6章 理事会の職務より】</p> <p>(1)この法人の業務執行の決定 (2)理事の職務の執行の監督 (3)会長の選定及び解職 (4)副会長の選定及び解職 (5)専務理事の選定及び解職 (6)常務理事の選定及び解職</p> <p>上記の(1)に関して、特定資産取扱規程の改正案、2024年度事業計画並びに予算案、組織規則・分掌規程の改正、石川県理学療法士会会員への2024年度年会費請求、指定規則等改正に向けた本会の基本方針(案)、第60回日本理学療法学会学術研修大会 企画・予算案、2023（令和6）年度役員報酬額（理事）、新入会員の承認について審議し、決議しました。また各種報告事項を確認し、上記(2)に関して執行を監督しました。</p> <p>理事会後に開催された理事懇談会において、役員選挙制度の変更、公益社団法人としての中長期計画の提示、公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会の今後の事業の進め方、職能事業で研修テキストとして協会書籍を作成し出版社を通しての有料販売、旅費規程の修正方針、懲戒規程の修正方針、総会議事運営規程の修正方針、役員報酬等規程第5条の課題整理に係る組織・規則等検証委員会への情報提供、協会としてのブロックの位置づけについて、協議しました。</p> <p>続いて開催された組織強化対策本部では、組織強化にむけた取りまとめの進捗を確認しました。会員にとって意義ある事業の展開ならびに、持続可能な組織運営のための取り組みについて、襟元をただしたうえで、役員自らが主体的に動くこと、そして都道府県理学療法士会としっかり協力していく、長期的な取り組みが必要と考えます。</p> <p>3月4日には World Physiotherapy AWP region 執行委員会の会議が行われました。2024年のAWP学会の進捗などについて確認し、企画について議論しました。3月26日のテーマはプライベートプラクティスでした。プライベートプラクティスは、日本の現状でいうと、公的保険外で理学療法士がその知識や技術をいかんなく発揮し、国民の健康や福祉を増進するものといえます。プライベートプラクティスを実践されている先生が日本からも登壇し、活発な意見交換が行われる回となりました。</p> <p>次回は6月で、Future network をテーマとした Webinar を行うことになっています。Future network は、学生や若手理学療法士らが世界理学療法連盟の活動を盛り上げるよう取り組みの一環で、鋭意企画をしているところです。</p> <p>グローバル化の進む社会ですが、インターネットを活用することで、簡単に世界とつながりが出来るようになりました。この Webinar の参加は Zoom で行われます。Zoom では英語の自動字幕（ライブトランスクリプト）機能もあります。覗いてみるだけでも、全く問題ありません。ご興味のある方は気負うことなく、ぜひお気軽にご参加ください。</p>
報告日	2024年5月10日

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。